



▲仮設南三陸さんさん商店街のみんなで記念撮影。

決して笑顔を絶やさず、全国のみなさんに支えられながら町の復興を目指して歩み続けた。

津波ですべてが失われた無残な現実を前に、商店主たちは、当初、店の再建を想像することさえできなかった。しかし、震災直後から開催された南三陸福興市に集まった住民たちや、全国からやって来たボランティアのみなさんのあたたかい励ましに背中を押され、商店主たちは立ち上がった。2012(平成24)年2月25日、仮設「南三陸さんさん商店街」が、吹雪の中、オープンした。

この商店街には100万人以上が訪れ、津波被災地で復興をめざす商店街の象徴的存在となってきた。2017(平成29)年3月3日、かさ上げされたかつての志津川地区の中心部に、本設店舗が建築家の隈研吾氏の設計により、落成・開業した。飲食店や鮮魚店など、28店舗での再出発となった。



▲かつての志津川地区中心部を10mかさ上げした造成地に

2017(平成29)年3月3日 本設の南三陸さんさん商店街がオープンした。

全国の支援者との交流を大切に育みながら、復興への道のりを歩み続けてきた商店主たち。2017(平成29)年には経済産業省「がんばる商店街30選」に選出され、2019(平成31)年日本ショッピングセンター協会第8回SC大賞において特別賞を受賞した。

感謝を胸に、心あたたまる商店街を目指し、今も商店主たちの奮闘は続いている。